

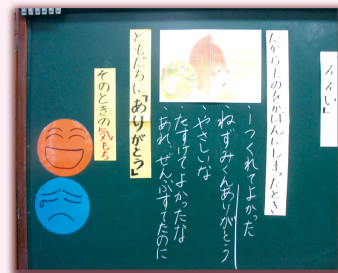
2年生

○資料提示の工夫

登場人物の気持ちを想起させるために、資料や学級の実態に合わせて、紙芝居やペープサートを使用し、場面絵を掲示した。



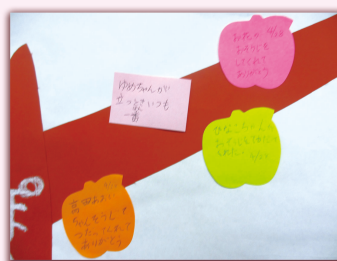
絵があるから、
どんなお話なの
かとても分かり
やすいね。



○資料と実生活をつなげるための工夫

「かいいちあったかいさくせん」と題して、「温かい心で相手に接したことや親切にされたことを紹介し合おう」と呼びかけ、日常化につなげた。

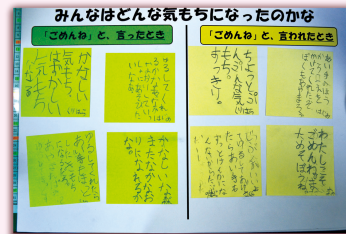
ぼくが困っている
ときに「大丈夫？」と
言ってくれました。



○学習形態の工夫

少人数での話し合い活動を取り入れ、友達のことを聞き、広められるようにした。話し合いを円滑にするために、一人一人が読み取った気持ちを付箋に書き、グループで持ち寄り、ワークシート上で意見を整理しやすくした。

みんなはこんなこと
を思っているんだ。
僕と違うな。



道徳分科会

2・5年生

目指す児童像

- ・相手の気持ちや立場を考えながら助け合える子
- ・明るい心で楽しく生活し、みんなと協力できる子

具体的な手だて

- ・資料の内容に引き込まれるようにするための導入や資料提示の工夫
- ・資料と実生活をつなげるための工夫
- ・互いに考えを聞き合い認め合うための学習形態の工夫

5年生

○資料提示の工夫

紙芝居を使用し、児童が視覚的に捉えやすくした。また、場面絵として黒板に掲示することで、内容を想起しやすいようにした。

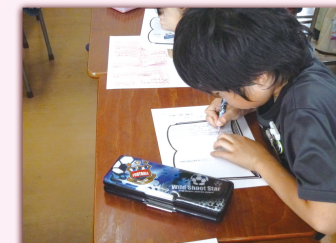


紙芝居だから、資
料の内容が分かり
やすいな。



○資料と実生活をつなげるための工夫

登場人物の心の葛藤を中心発問として考えさせることで、心情を想像できるようにし、実生活と結び付けながら考えさせるようにした。



○学習形態の工夫

少人数での話し合い活動を取り入れ、友達のことを聞き、深められるようにした。また、色分けした付箋を使用することで、登場人物の心の葛藤を視覚的にとらえさせ、理解しやすくした。



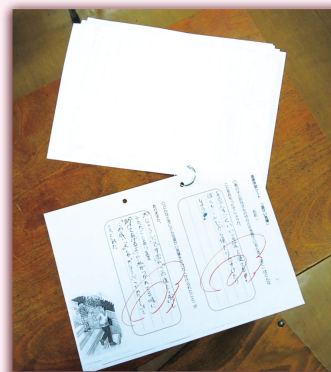
この考えはこれと同じ
じゃないかな。みんな
色々な意見をもってい
て、面白いね。



各学年の取組

《ポートフォリオの活用》

今までの学習のワークシートを手元を持つことにより、自分の心の変化を振り返ったり、確認したりすることができた。



前は、こんなこと
を考えていたんだ
な。今と違うな。

《ロールプレイの活用》

1年生では、登場人物になりきって演じることで、登場人物の心情を自分のことのように捉え、より深く考えることができるようになった。



《小グループでの話し合い》

小グループでの話し合いは、みんなの前では発表できない児童でも、活発に参加することができた。友達から認められることで、全体でも自信をもって発表できるようになった。

